GX9900A8

MITSUBISHI

三菱 自動風呂給湯 電気温水器

ダイヤホット フルオート

「時間帯別電灯」対応通電制御型／深夜電力通電制御型（8時間）

※この製品は、昼間沸き増しのできる「時間帯別電灯」対応通電制御型としても、「深夜電力」通電制御型としても使用できます。

SRT-3764FA-BL
SRT-4664FA-BL

仕様書

仕様表

適用電力制度			「時間帯別電灯」対応通電制御型／深夜電力通電制御型（8H）	
機種区分			配管内蔵防雨タイプ（減圧弁・逃し弁内蔵）	
形名			SRT-3764FA-BL	SRT-4664FA-BL
設置場所			屋外（防雨タイプ）	
タンク容量			0.37m^3（370L）	0.46m^3（460L）
電源			単相200V（時間帯別電灯契約時） 深夜電力単相200V＋昼間電力単相200V（深夜電力契約時）	
定格	最大消費電力		5.6kW	6.6kW
定格	発熱体	上部	4.4kW	5.4kW
定格	発熱体	下部	4.4kW	5.4kW
定格	発熱体	保温	1kW	
定格	発熱体	凍結防止	約64W（5℃　ON、15℃　OFF）	
定格	循環ポンプ		102W／151W（50Hz／60Hz）	
定格	制御用		約15W（最大時）	
外形寸法	高さ		1,785mm	2,125mm
外形寸法	奥行き		690mm	
外形寸法	幅		850mm	
製品質量	本体		82kg	94kg
製品質量	満水時		452kg	554kg
最高使用圧力			98kPa（減圧弁、逃し弁本体内蔵）	
配管位置			本体下部	
配管接続口径	給湯口・給水口		R3／4ネジ（20A）	
配管接続口径	ふろ往き管口・戻り管口		R1／2ネジ（15A）	
ふろ配管			15A	
ふろ給湯可能範囲			温水器設置面から浴槽湯はり口高さ　1階：－0.3m～＋0.5m 2階：＋2.0m～＋3.5m	
アース			アース端子	
形式認可番号			81-18894	81-18895
日水協認証登録番号			A-180	

主要部品

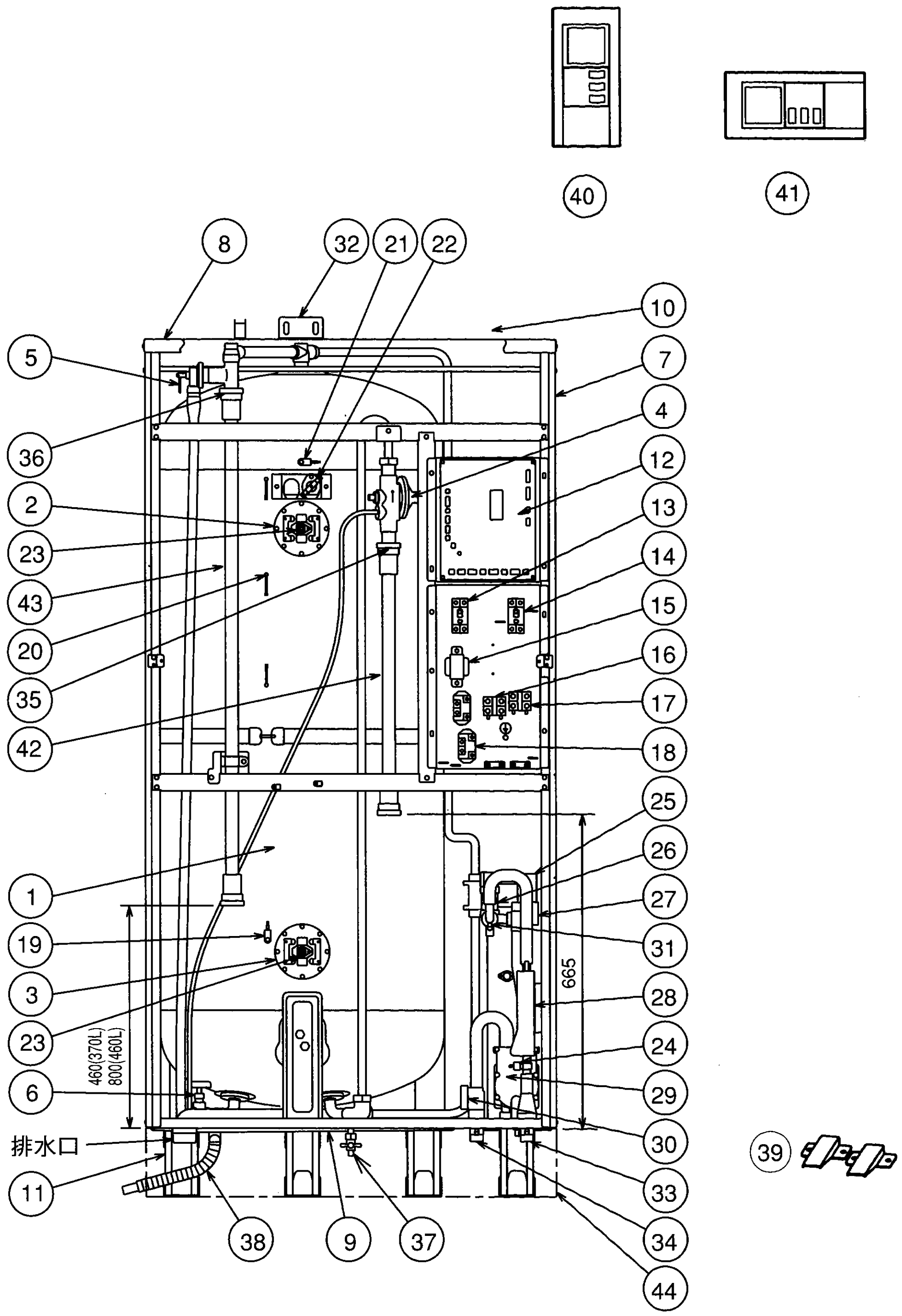
形名	SRT-3764FA-BL	SRT-4664FA-BL
タンク	高耐食フェライト系ステンレス鋼板	
タンク発熱体	銅パイプシーズヒーター	
減圧弁	80kPa（缶体保護弁付）	
逃し弁	97kPa（負圧作動弁付）	
ケース	塗装鋼板	
保温材	グラスウール	
漏電遮断器	電流動作形感度15mA　0.1sec（200V　30A）	
温度過昇防止器	バイメタル式220V　25A	バイメタル式220V　30A
温度調節器	温度検知サーミスター	
混合弁	電動ミキシングバルブ	
循環ポンプ	マグネットカップリング式渦巻ポンプ	
保温用発熱体	シーズヒーター	

製品仕様

タンク沸き上げ湯温設定	約70℃～90℃（自動節約）、約90℃（高）、約75℃（中）、約55℃（低）
ふろ湯温設定	35℃～48℃（1℃刻み）
ふろ水位設定	4cm刻み　7段階
運転音	45dB（A）以下
温水器本体付属部品	脚固定金具（2個）、上部振れ止め金具（1個） パテセット、非常用取水栓ホースセット

別売部品

部品名	形名
台所リモコン	RMC-4FK
浴室リモコン	RMC-4FB
リモコンケーブル	4芯　φ4.2mm　LM-503B（3m）、LM-505B（5m） LM-507B（7m）、LM-510B（10m）、LM-515B（15m）
浴槽アダプター	GT-A76（直管おねじタイプ） GT-A78（直角おねじタイプ）
絶縁パイプ	GT-60B（給湯用1m）、GT-61B（給水用0.5m） GT-62B（ふろ用0.5m）
脚カバー	GT-B460F
アース棒	GT-30B



	品　名	材　質	個数	備考
1	タンク	フェライト系ステンレス鋼板	1	
2	上部発熱体	銅パイプシーズヒーター	1	
3	下部発熱体	銅パイプシーズヒーター	1	
4	減圧弁	青銅鋳物	1	缶体保護弁付
5	負圧作動弁付逃し弁	青銅鋳物	1	
6	排水栓	青銅鋳物	1	
7	ケース	塗装鋼板	2	
8	ケース（上）	電気亜鉛メッキ鋼板	1	塗装
9	ケース（下）	亜鉛メッキ鋼板	1	
10	運搬用取手	耐候性PP樹脂	2	
11	器体脚	冷間圧延鋼板	4	亜鉛メッキ
12	制御基板		1	
13	漏電遮断器（タンク発熱体用）		1	電流動作形
14	漏電遮断器（浴槽保温発熱体用）		1	電流動作形
15	トランス		1	
16	200Vターミナル		1	
17	200V補助ターミナル		1	
18	電磁接触器		2	
19	温度検知センサー		1	サーミスター
20	残湯量表示センサー		3	サーミスター
21	湯温表示センサー		1	サーミスター
22	温度過昇防止器(タンク湯温用)		1	バイメタル式
23	温度過昇防止器（タンク発熱体用）		2	バイメタル式
24	温度過昇防止器(浴槽保温発熱体用)		1	バイメタル式
25	電動混合弁	青銅鋳物	1	
26	大気開放弁付電磁弁		1	
27	電動二方弁		1	
28	浴槽保温発熱体	シーズヒーター	1	
29	循環ポンプ		1	
30	水位センサー		1	
31	浴槽温度検知センサー		1	サーミスター
32	上部振れ止め金具	亜鉛メッキ鋼板	1	
33	ふろ往き管口	青銅鋳物	1	R1／2ネジ
34	ふろ戻し管口	青銅鋳物	1	R1／2ネジ
35	給水口	黄銅	1	R3／4ネジ
36	給湯口	青銅鋳物	1	R3／4ネジ
37	非常用取水栓（水抜き栓）	黄銅	1	
38	ドレンホース		1	1m
39	脚固定金具	亜鉛メッキ鋼板	2	
㊿別 40	台所リモコン		1	
別 41	浴室リモコン		1	
別 42	絶縁パイプ（給水側）	耐熱塩ビ	1	20A
別 43	絶縁パイプ（給湯側）	耐熱塩ビ	1	20A
別 44	脚部カバー	電気亜鉛メッキ鋼板	1	塗装

(別)印は別売品です。

SRT-3764FA-BL　SRT-4664FA-BL

「時間帯別電灯」対応通電制御型、配管内蔵防雨タイプ

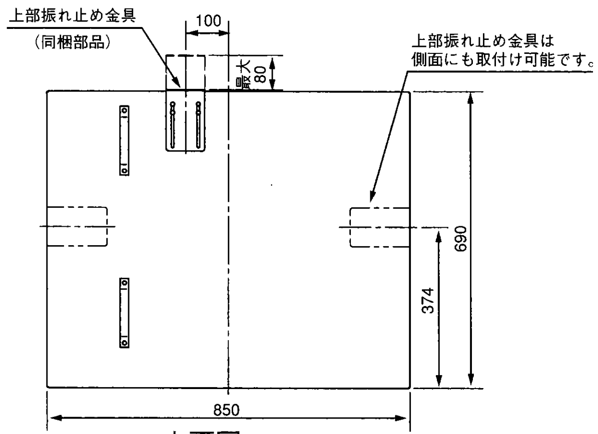
構　造　図

T980011B

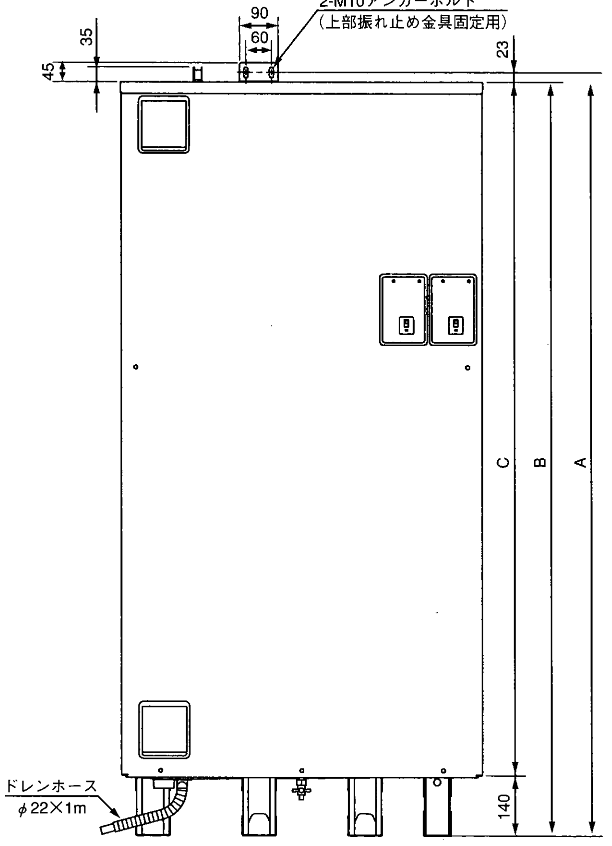
形名		SRT-3764FA-BL	SRT-4664FA-BL
タンク容量（L）		370	460
消費電力（kW）		5.6	6.6
質量（kg）	本体	82	94
	満水時	452	554
寸法（mm）	A	1,773	2,113
	B	1,750	2,090
	C	1,610	1,950

⚠注意

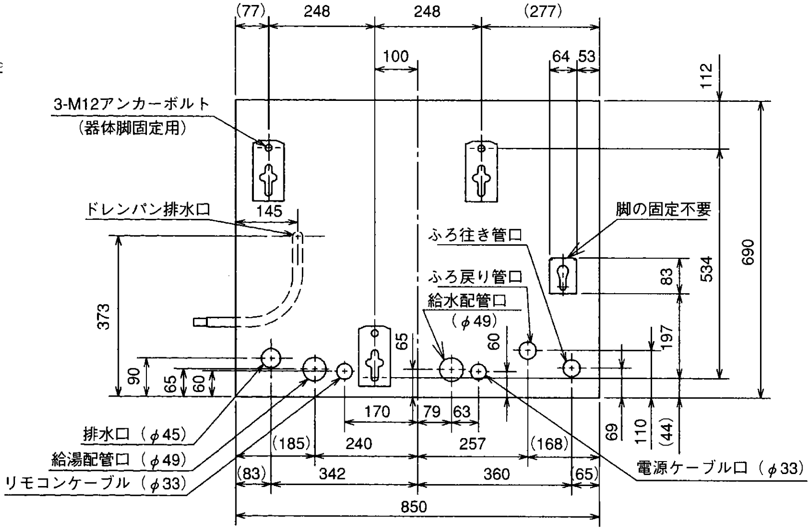
- ●温水器の重量に十分耐える基礎工事をしてください。
  （460Lで満水時約554kg）
- ●器体脚、上部振れ止め金具はアンカーボルト等で必ず固定してください。
  （後側の器体脚の固定ができない場合は付属の脚固定金具をご使用ください。）



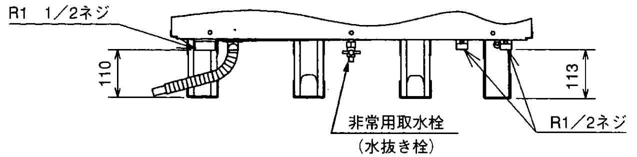
上面図

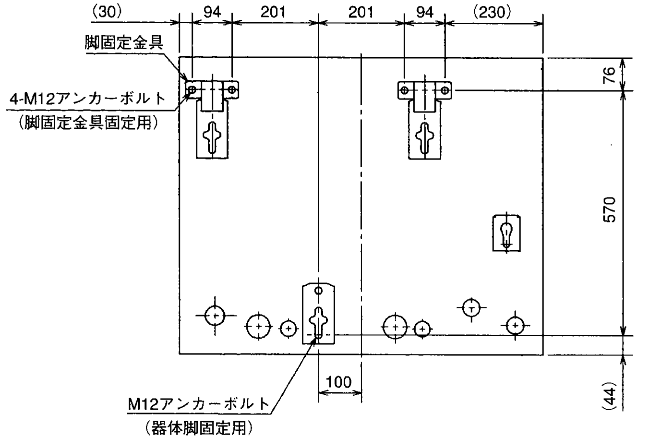


正　面



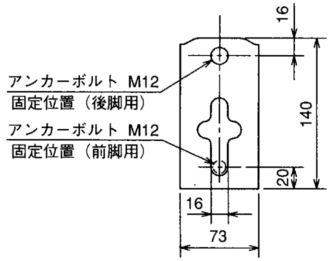
配管、アンカーボルト位置：上面透視図



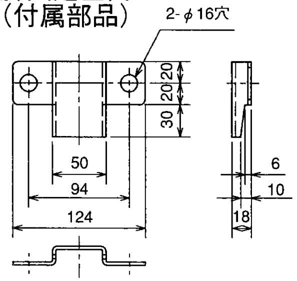


脚固定金具使用時：上面透視図

器体脚詳細図



脚固定金具
（付属部品）



（寸法単位：mm）

SRT-3764FA-BL　SRT-4664FA-BL

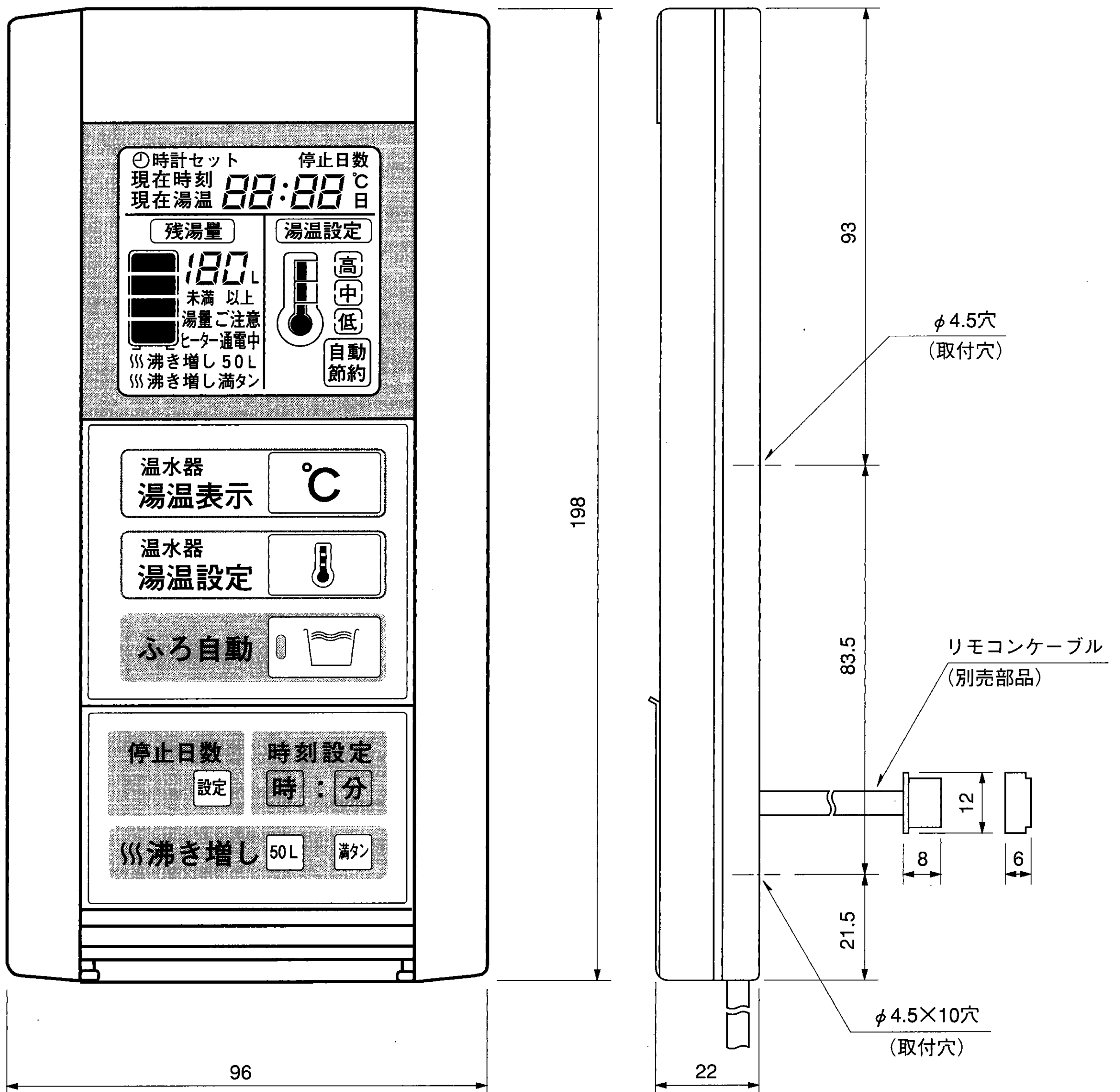
「時間帯別電灯」対応通電制御型、配管内蔵防雨タイプ

外形寸法図

T980012A

寸法（mm）	（幅）96×（高さ）198×（奥行）22	
操　作	温水器湯温表示 温水器湯温設定（高、中、低、自動節約） 時刻設定（時・分）、停止日数 沸き増し設定（50L沸き増し、満タン沸き増し） ふろ自動	
表　示	湯温表示、残湯量表示（湯量ご注意、50L、100L、150L） ヒーター通電中表示、湯温設定表示 時刻表示、停止日数 沸き増し表示（沸き増し50L、沸き増し満タン） ふろ自動　入／切	
リモコン ケーブル （別売部品）	4芯　4.2mm	
	貫通穴径	φ14mm以上
	適用電線管	呼び径19mm

・リモコンの取付けには工事が必要になります。
・設置条件によって、リモコンケーブル（別売）
LM-503B(3m)・LM-505B(5m)・LM-507B(7m)・LM-510B(10m)・LM-515B(15m)の中から最適な長さのものをお使いください。



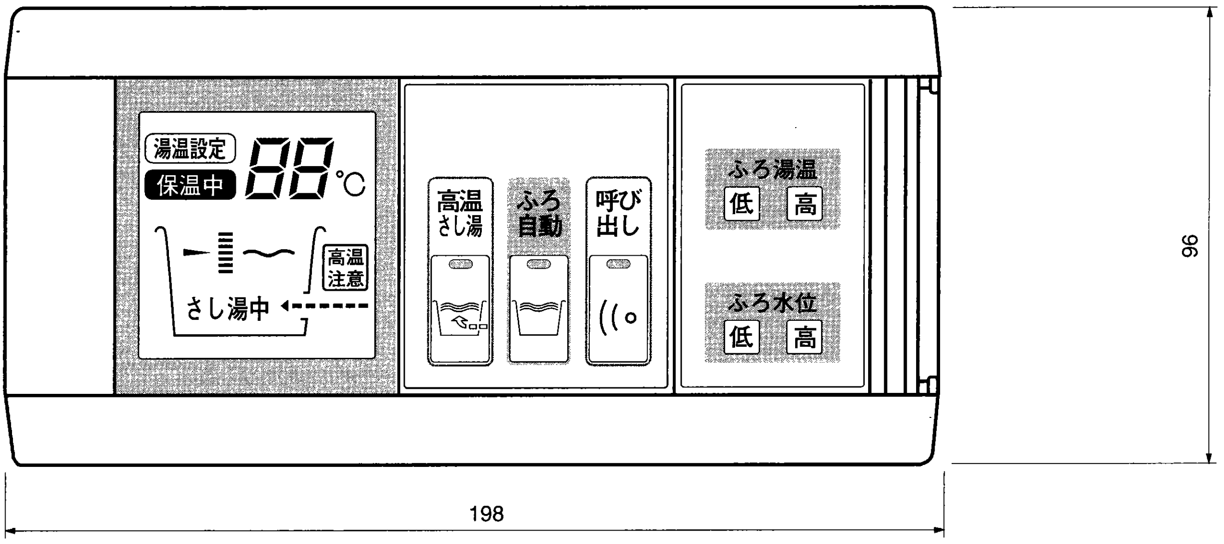
（寸法単位：mm）

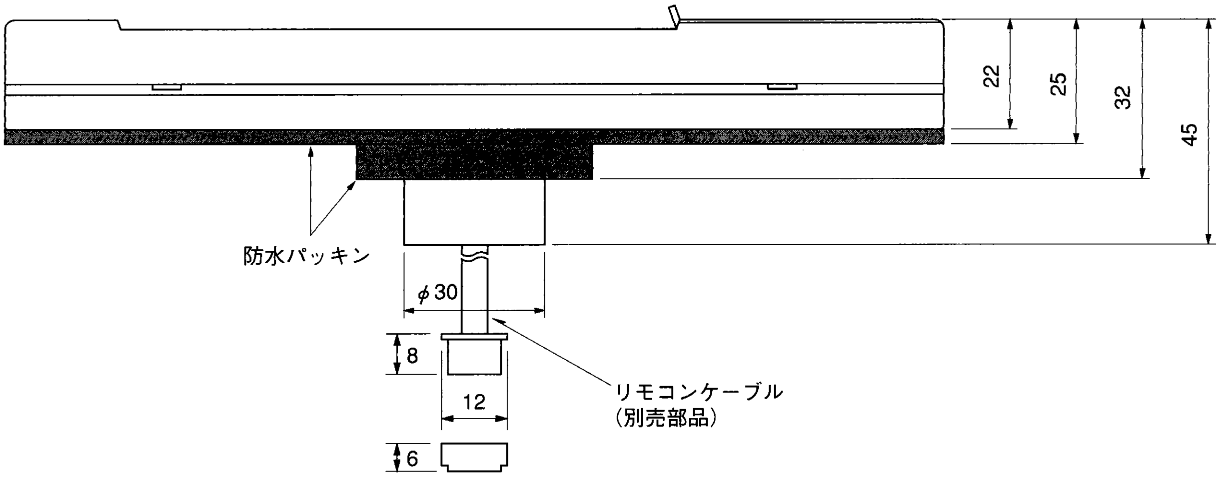
＊液晶表示部は、スイッチが押されるとバックライトが点灯し明るくなります。1分経過しますと自動的に消灯します。

台所リモコン RMC-4FK（別売） 外形寸法図	
T980013A	／

寸法（mm）	（幅）198×（高さ）96×（奥行）22	
操　作	ふろ自動、高温差し湯 呼び出し 浴槽水位設定（高・低）、浴槽湯温設定（高・低）	
表　示	設定湯温表示、設定水位表示、 湯張り中表示、湯張り完了表示、保温中表示、 高温注意表示、差し湯中表示 ふろ自動　入／切	
リモコン ケーブル （別売部品）	4芯　4.2mm	
	貫通穴径	ϕ32〜ϕ35mm
	適用電線管	呼び径19mm

・リモコンの取付けには工事が必要になります。
・設置条件によって、リモコンケーブル（別売）
LM-503B(3m)・LM-505B(5m)・LM-507B(7m)・LM-510B(10m)・LM-515B(15m)の中から最適な長さのものをお使いください。





＊液晶表示部は、ふろ自動スイッチが押されるとバックライトが点灯し明るくなります。
4時間経過すると自動的に消灯します。なお、点灯中にスイッチを押すと消灯します。
＊ふろ自動以外のスイッチを押すと1分間点灯します。（但し高温差し湯のみ2分間点灯）

（寸法単位：mm）

浴室リモコン RMC-4FB（別売） 外形寸法図	
T980014A	／

据付工事

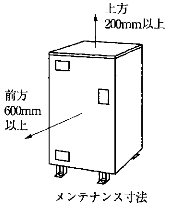
●本体1台に対して接続できる浴槽は1台です。
●本体の複数接続はできません。
●本体と太陽熱温水器との接続はできません。
●本体内蔵減圧弁からの2次給水はできません。

据付場所

複数台数の接続はできません。

●温水器と建物とのすき間寸法は各都市の火災予防条例に従ってください。
●雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるようなところには絶対に据付けないでください。
●浴室など湿気の多いところには据付けないでください。
●配管の放熱ロスを少なくするため、使用頻度の多い台所近くが最適です。
●この温水器はポンプを内蔵しているので、ポンプ運転中の音が気になる場所には据付けないでください。
●室内（機械室など）に据付ける場合は通気口を設け、密閉室にしないでください。
●保守、点検に必要なスペースを確保してください。また、本体が故障したときや交換時の搬入、搬出ができるように側面のスペースも考慮してください。

（この製品は「組込み形等電気機器の設置に関する自主基準」（平成８年８月２１日社団法人日本電機工業会）適合品のため、建築物の可燃物等からの離隔距離は、上下、左右、前後方向とも０mm以上です。ただし、故障時や交換時などのメンテナンススペースを確保するため、右図に示す寸法を確保してください。）



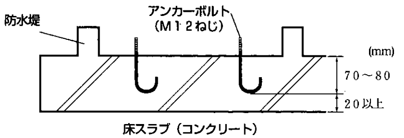
メンテナンス寸法

⚠警告
ガス類や引火物の近くには据付けない
発火・火災になることがあります。

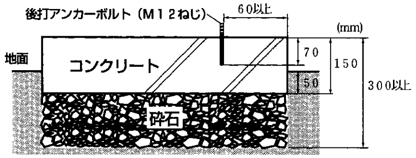
床面工事

●満水時の質量（460Lで約554kg、370Lで約452kg）に十分耐える基礎工事をしてください。
●屋内設置の場合は防水、防水堤および排水処理工事を行ってください。

基礎工事　**埋込みアンカーの場合（屋内の場合）**



後打ちアンカーの場合（屋外の場合）



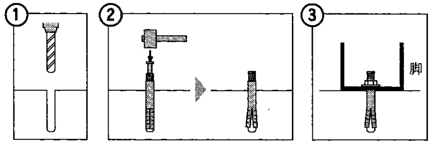
コンクリートの圧縮強度……1764×10⁴ Pa（180kgf/cm²）以上
アンカーボルト引き抜き力……… 9800N（1000kgf）以上

【お願い】・買替え時、アンカーボルトの位置が異なっているときは、新たにアンカーボルトを打ってください。
・後打ちアンカーボルトの場合は下表のものをご使用ください。

品名：雄ねじ形メカニカルアンカーボルト　寸法（mm）

直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ
12	100	30	12.7	70

後打ちアンカーボルトの施工例

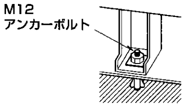


ドリル等で予め穴をあけておきます。
アンカーボルトを入れ、ハンマー等でピンを打ち込みます。（アンカーボルトは開脚密着します。）
ナット、ワッシャーをはめ、脚を固定します。

⚠注意
床面の防水・排水処理工事をする
処理工事しないと水漏れが起きたとき、大きな被害につながることがあります。

脚固定方法

●脚は地震時の転倒防止のためアンカーボルトを使用して床面に固定します。

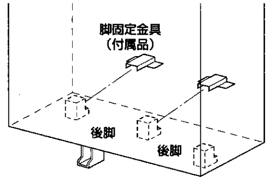


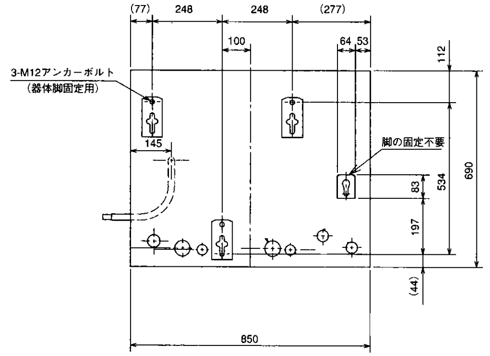
アンカーボルト固定後

⚠注意
脚をアンカーボルトで固定する
固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

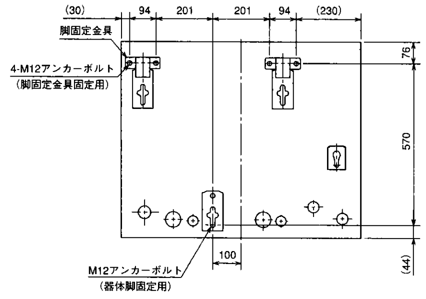
後脚がアンカーボルトで固定できない場合

①付属の脚固定金具をM12アンカーボルトで下図の位置に固定します。
②本体を矢印の方向に移動させ、後脚を脚固定金具の爪にはめ込みます。
③前脚をアンカーボルトで固定します。





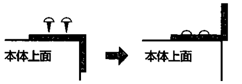
アンカーボルト位置（上面透視図）



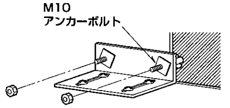
脚固定金具使用時（上面透視図）

上部振れ止め工事

①本体上面に取付けてある上部振れ止め金具を外し上向きに取付けます。



②上部振れ止め金具を壁に固定します。



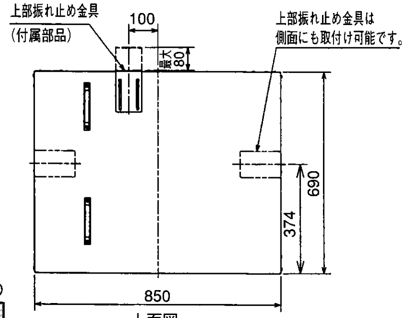
上部振れ止め後

⚠注意
2階以上に据付ける場合は、上部振れ止め金具で本体を固定する
固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

品名：雄ねじ形メカニカルアンカーボルト　寸法（mm）

直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ
10	60	25	10.5	35

【お願い】・引張荷重が4900N（500kgf）以上に耐える壁、または桟を設けてください。
・アンカーボルトは引き抜き力が2450N（250kgf）以上になる施工をしてください。
・後打ちアンカーボルトの場合は右上表のものをご使用ください。



上面図

SRT-3764FA-BL　SRT-4664FA-BL

据付工事
T980015A

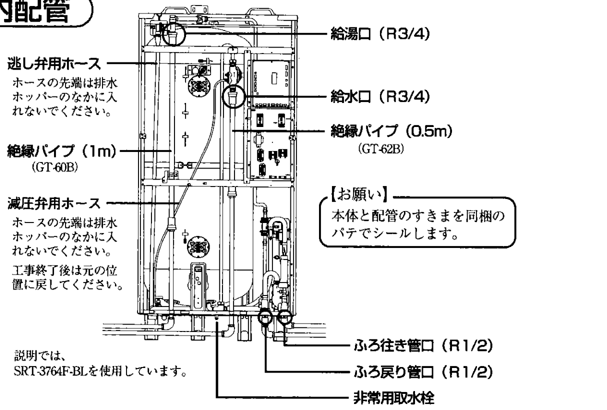
配管工事

●サーモスタット付混合栓を使用する場合、構造により出湯量が極端に少ない場合があります。最低必要圧力、シャワーヘッドなどの仕様を確認して選定してください。
●上水道に直結する場合は当該水道局の条例に基づき認定水道工事業者が指定された配管材料を使って施工します。
●水は、必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水を使用します。
・塩分、石灰分、その他の不純物が使用水に多く含まれていたり、酸性水質の地域での使用はさけてください。
・井戸水は水質によって故障の原因となりますので、ご使用はおさけください。
●水源水圧は150kPa（1.5kgf/cm^2）以上、必要です。
●温水器回りの配管部品は、保守、点検がしやすいように取付けます。
●水栓は湯水混合栓を使用することをおすすめします。特に浴室ではやけど防止のためサーモスタット付混合栓等の使用をおすすめします。
●逃し弁、減圧弁は当社純正部品を使用しています。交換する場合は、三菱純正部品（別売）をご使用ください。
●ドレンホースは必ず排水ホッパーに導いてください。万一の水漏れ被害を防ぎます。

【お願い】
●配管材料をろう付けした場合は、ろう付け箇所のフラックスや温水器ケースに飛散したフラックスを濡れた布できれいに拭き取ってください。
●配管材料はネジ切り・切断などの際、油やゴミが付着しますから加工後は必ず中性洗剤で洗浄してから配管してください。
また、キズやバリが無いように面取りを行なってください。
●給湯配管は、管の膨張収縮がありますので、コンクリート壁やスラブを貫通するときはスリーブを使用し、埋設配管するときは管を固定しないでください。
●配管接合部のシール材は耐熱・耐食性のある材料を使用してください。

本体内配管

絶縁パイプ以降の給水配管・給湯配管及び、ふろ配管は現地で準備してください。

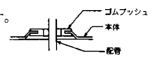


【お願い】
本体と配管のすきまを同梱のパテでシールします。

説明では、
SRT-3764F-BLを使用しています。

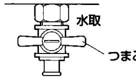
ゴムブッシュ

ゴムブッシュは本体と配管の絶縁をします。
外さないでください。



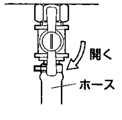
非常用取水栓使用図

通常時



●通常は、つまみを閉じておきます。開けておくとタンク内の水（湯）が漏れ、故障や湯切れの原因になります。

非常取水時



●非常取水時はホースを取付け、つまみを開きます。（熱湯が出る場合がありますので注意してください。）
工事をされる方へ
お客さまへ使用方法を具体的に説明してください。

標準配管例

給水配管

●耐熱・耐食性を考慮した配管材を使用します。（銅管をおすすめします。）
●タンクの掃除や点検など排水するときに必要な温水器専用止水栓を取付けてください。

給湯配管

●耐熱, 耐食性を考慮した配管材を使用します。（銅管をおすすめします。）
●階下給湯する場合, 給湯栓の高さは本体設置面から5m以内にしてください。（ふろ配管はできません。）

排水配管

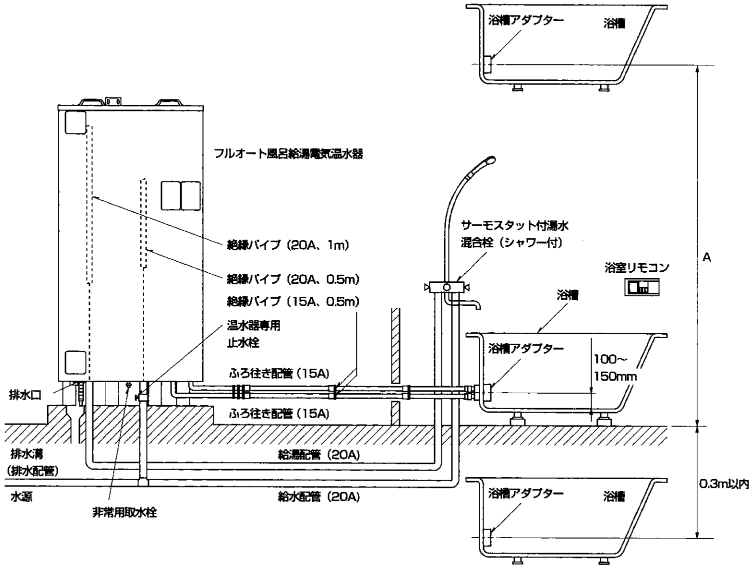
●排水時に高温（最高時約90℃）のお湯が排水される場合がありますので、耐熱性のある材料を使用します。
●排水管は, 内径50mm以上、配管勾配（1/200）以上にします。
●湯張り時や沸き上げ中に本体下部の排水口より少量の水が出ますので、必ず排水工事を行なってください。

温水器専用止水栓

●水漏れや故障のときなど水源を止めるために必要です。必ず温水器専用にしてください。

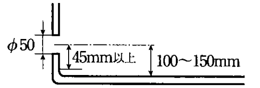
ふろ配管

●ふろ配管は、1/2″（インチ）(15A) の配管を使用します。
●ふろ配管の長さは片道15m5曲りまでです。
●階下へのふろ配管はできません。
●ふろ配の接続は、ふろ往き配管と、戻り配管を間違えずに行います。
●ふろ往き管、戻り管は耐熱、耐食性及び絶縁を考慮した配管材を使用します。（銅管・HT管をおすすめします。）
●ふろ往き管と、戻り配管には絶縁パイプ（GT-62B、500mm以上）を取付けてください。
●ふろ往き管と戻り配管で曲げ回数や長さなどが同一条件となるように配管します。
（水圧に差が生じると動作不良の原因になります。）
●鳥居配管にすると、配管途中にエアー溜まりを生じ湯が溢れる等の誤動作の原因となりますので避けてください。
●浴槽アダプターは設置条件に合わせて、専用の純正別売品を使用してください。



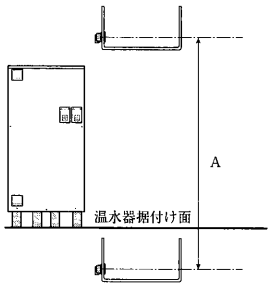
浴槽穴あけ工事

●浴槽穴は、底面から100～150mmの位置に1ヶ所あけてください。指定寸法以外では、浴槽水位が設定水位と異なる場合があります。
●浴槽穴径のセンターからRじまいまでの寸法は45mm以上です。



湯張り可能範囲

浴槽アダプターの中心が、本体の設置面から上方に3.5m以内, 下方に0.3m以内



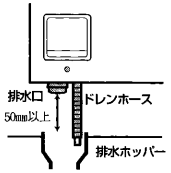
設置条件	A
1階	温水器据付け面から −0.3m～＋0.5m
2階	温水器据付け面から ＋2.0m～＋3.5m

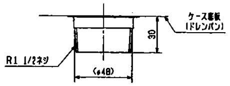
中2階設置の場合は、浴室の湯有無検知を誤り、湯張りできなくなる場合があります。

排水口付近拡大図

排水口

排水口空間50㎜
（HASS206による）





ドレンホース

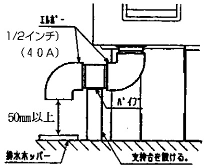
ドレンホースは温水器底面より上にならないようにして排水ホッパーへ導いてください。また、ドレンホースが排水ホッパーから外れそうなときは針金などで固定してください。

排水ホッパー

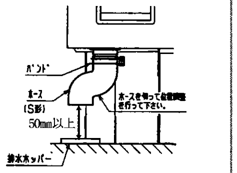
●口径80mm以上の排水ホッパーや排水トラップを使用します。（ケース低面の排水口の穴はφ38mmです。）
●ホッパーと排水口の中心位置を確実に合わせます。（中心位置がずれていると、排水時に水が飛び散って床面を濡らすことがあります。）

排水口と排水ホッパーの位置がずれている場合

（1）鋼管を使用する場合
ずれが大きい場合に適しています。



（2）ホースを使用する場合
ずれが小さい場合に適しています。



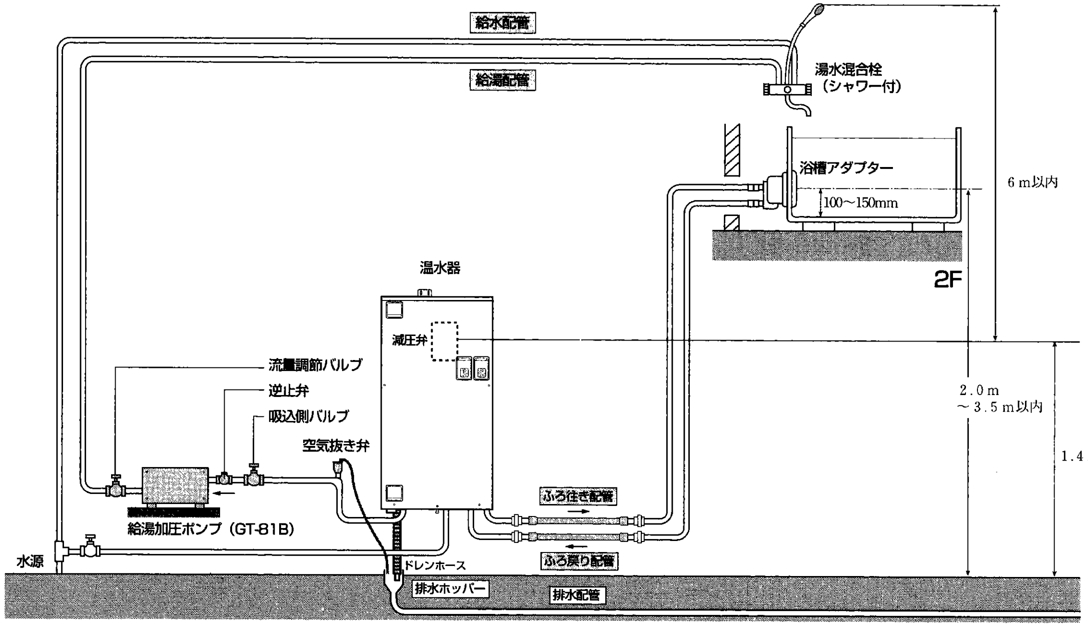
ホースは市販の風呂ホースを使用します。
外径：φ50mm（内径φ44mm）
形状：ジャバラ付き（S形、Z形等あり）

SRT-3764FA-BL　SRT-4664FA-BL

配管工事1
T980016A

2階給湯配管例

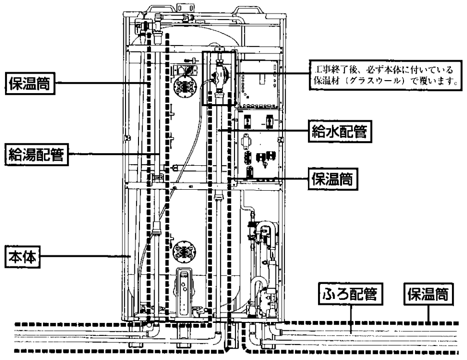
【お願い】
- ポンプは別売部品（給湯加圧ポンプ　GT-81B　シャワー給湯用）を使用してください。（接続および使用方法についての詳細は、使用するポンプの説明書をお読みください。）
- 空気抜き弁は必ず取付けてください。ポンプの吸込管側の空気がたまりやすいところに垂直に取付けます。（空気が入るとお湯の出が悪くなります。）
- 空気抜き弁はゴミがかんだり故障したときにビニルホースから湯が出ます。ビニルホースは必ず排水ホッパー（排水穴）等に導き、外れないように固定してください。
- ポンプの配管には吸込側バルブ、流量調節バルブ、逆止弁を取付けてください。
- 逆止弁は、方向を正しく取付けてください。
- 減圧弁から最も高い給湯栓（シャワー等）までの高さは6ｍ以内にしてください。
  6ｍを超えるとポンプを運転させるのに必要な流量が確保できず、お湯が出ません。
- 浴槽の設置は、浴槽アダプターの中心が本体の設置面から3.5ｍ以内にしてください。
- ふろ配管には、ポンプや逆止弁を取付けないでください。
- シングルレバー水栓使用時、ポンプにウォーターハンマー（水撃）がかかるおそれのある場合は、ポンプと水栓の間の配管に水撃防止器（市販品）を取付けてください。取付け方法等については水撃防止器の説明書をお読みください。
- 1階、2階へ給湯する場合は、ポンプの前で1階給湯を分岐させてください。ポンプの後で分岐させると1階でお湯を使用中に2階でお湯が出ない場合があります。



説明のため脚は記載しておりません。

保温工事

○配管接続部の水漏れの有無を点検してから工事をしてください。
○地中配管や屋外など雨露のかかる保温箇所には適切な防水処理をしてください。
○給湯、給水、ふろ配管は、必ず保温工事を行なってください。



紙面上での説明では、SRT-3764FA-BLを使用しています。

凍結防止工事

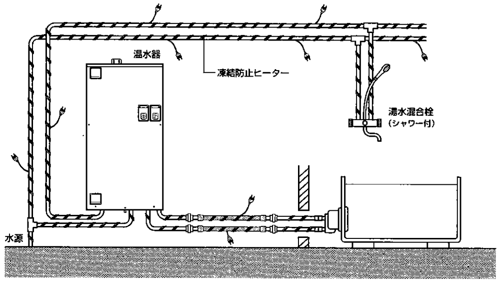
○保温工事がしてあっても周囲温度が0℃以下になると配管は凍結します。機器や配管が破損する場合がありますので適切な凍結防止対策を施工してください。

【お願い】凍結防止対策とその操作方法をお客様に充分に説明してください。

【お願い】配管に水が無い状態では、絶対に、凍結防止ヒーターに通電しないでください。

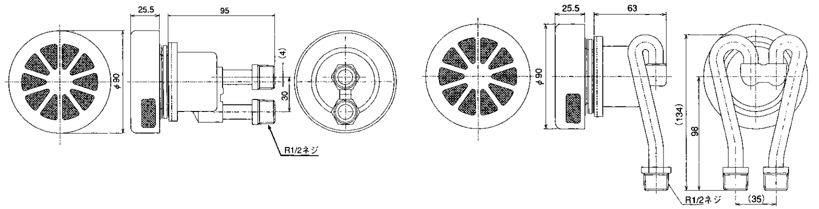
凍結防止ヒーターによる方法

①凍結の恐れがある配管すべてに巻きます。（本体内部の配管については保温材による凍結防止を行なってください。）
②凍結防止ヒーターを巻く場合はヒーター同梱の「説明書」により施工します。
③凍結防止ヒーターは何本も使用しますので適当な位置にコンセントを設けます。



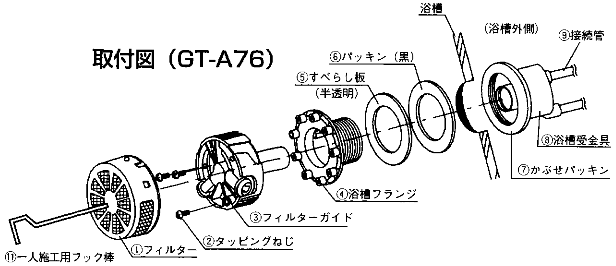
浴槽アダプター（別売部品）

寸法図



※無極性浴槽アダプター（市販品）を使用すると、湯張り異常になることがあります。
純正別売部品を使用してください。

取付図（GT-A76）



No.	部品名	数量	No.	部品名	数量
①	フィルター	1	⑥	パッキン（黒）	1
②	タッピングねじ	3	⑦	かぶせパッキン	1
③	フィルターガイド	1	⑧	浴槽受金具	1
④	浴槽フランジ	1	⑨	接続管	1
⑤	すべらし板（半透明）	1	⑩	一人施工用フック棒	1

SRT-3764FA-BL　SRT-4664FA-BL

配管工事2

T980017A

電気工事

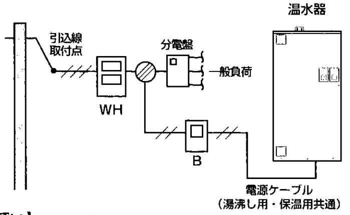
電気設備技術基準及び内線規程に基づいて必ず指定工事業者が行なってください。

- 試運転は必ずタンクを満水にしてから行なってください。
- この温水器の内部配線は「時間帯別電灯」対応通電制御型になってます。
  深夜電力で使用する場合は 深夜電力で使用する場合 の工事を行なってください。
- ブレーカー（配線用遮断器）および電線（ケーブル）の太さは内線規程（下表参照）に定められたものを使用してください。

引込配線工事

時間帯別電灯で使用する場合

引込口から温水器までの回路は以下のとおりです。



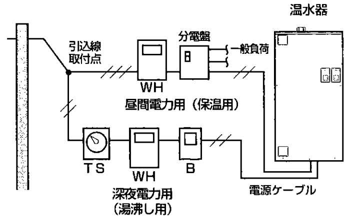
WH 電力量計
ジョイントボックス
B 200V電源ブレーカー
単相３線
単相２線

【お願い】 引込線取付点とジョイントボックス間のケーブルの太さは、一般負荷と温水器を見込んだサイズにしてください。

ブレーカーの定格とケーブルの太さ・種類

形　名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
SRT-3764F-BL	単相200V	5.6kW	40A	8㎜²（φ3.2㎜）	VV
SRT-4664F-BL	単相200V	6.6kW	50A	14㎜²	VV

深夜電力で使用する場合



WH 電力量計（深夜電力用）
TS タイムスイッチ
B 200V電源ブレーカー
単相３線
単相２線

ブレーカーの定格とケーブルの太さ・種類

形　名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
SRT-3764F-BL	単相200V（深夜電力）	4.4kW	30A	8㎜²（φ3.2㎜）	VV
	単相200V（昼間電力）	1.2kW	15A	φ1.6㎜	VV
SRT-4664F-BL	単相200V（深夜電力）	5.4kW	40A	14㎜²	VV
	単相200V（昼間電力）	1.2kW	15A	φ1.6㎜	VV

【お願い】 200Vターミナルの圧着端子は「時間帯別電灯」対応通電制御形に対応していますので、ケーブルの太さは、記載されているサイズにしてください。

【お知らせ】 深夜電力で使用する場合は、５０Ｌ沸き増し、満タン沸き増しはできません。

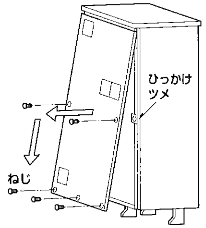
配　線

以下の配線工事を行なってください。

- 200V電源工事
- 保護アース（接地）工事
- 台所リモコン工事（12ページ）
- 浴室リモコン工事（13ページ）

- 各配線で使用するケーブルは必要以上にたるませないでください。
- 前面カバーは右図を参照してあけてください。

【お願い】 本体と配線のすきまを同梱のパテでシールします。シール方法は、付属の工事説明書をお読みください。

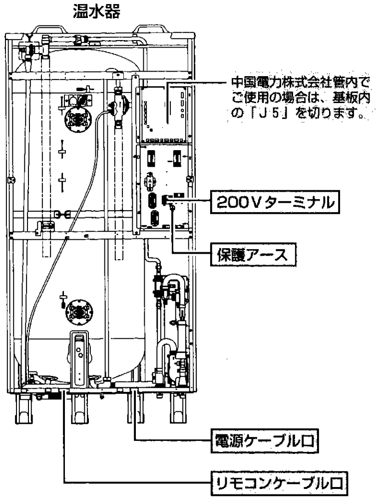


前面カバーの外し方

前面カバーのねじ（５本）を外したあと、前面カバーを上げながら手前に引いて降ろします。

【お願い】
配線が終わったあと、前面カバーは元どおり確実に閉めてください。

200V電源工事

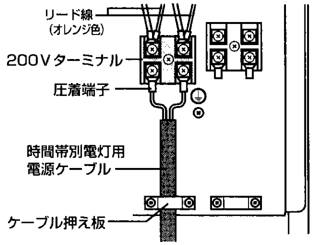


時間帯別電灯で使用する場合

①時間帯別電灯用電源ケーブルを電源ケーブル口から通し、200Ｖターミナルに接続します。

②ケーブル押え板で時間帯別電灯用電源ケーブルを固定します。

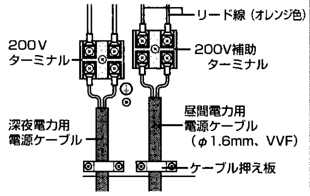
- 締付トルク3.2N·m（33㎏ｆ·㎝）以上
- 線間絶縁距離６㎜以上



【お願い】 ターミナルへの接続は付属の圧着端子を使用してください。

深夜電力で使用する場合

※200Ｖターミナルに接続してあるリード線（オレンジ色）を外し、200Ｖ補助ターミナルに接続します。※昼間電力用の電源ケーブルを200Ｖ補助ターミナルに接続します。※ケーブル押え板で電源ケーブルを固定します。



保護アース（接地）工事

- 万一の感電事故防止のため電気設備技術基準および内線規程に基づき、必ず電気工事士による第３種接地工事（接地抵抗値100Ω以下）を行なってください。
- 水道管、ガス管への接地、および他器具用アースとの共用はできません。
- 避雷針の接地と２ｍ以上離してください。

①アース棒（純正別売部品）と市販のアース線（IV電線3.5ｍ㎡ 緑色）をはんだ付けまたは接続端子で接続します。

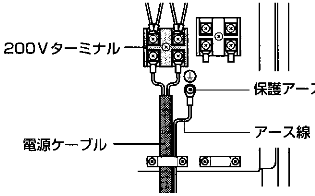
②アース線電源ケーブル口から通し、200Vターミナル右下の保護アース（⏚ マーク）に接続します。

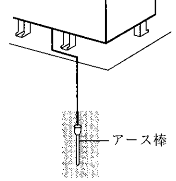
③アース棒を湿気のあるところで地中30cm以上の深さに打ち込みます。

⚠警告

必ずアース工事をする

工事に不備があると、故障や漏電のとき感電することがあります。





SRT-3764FA-BL　SRT-4664FA-BL

電気工事

T980018A

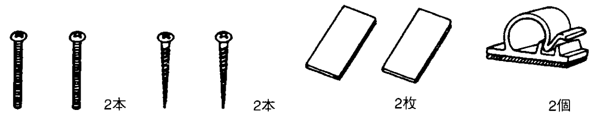
台所リモコン工事

●リモコンケーブルは三菱純正別売部品をご使用ください。

台所リモコン付属品

壁取付用ねじ

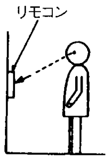
(1)ケーブル埋込配線用（M4×20ねじ）　(2)ケーブル露出配線用（4×20木ねじ）　(3)温水器本体取付用シール　(4)ケーブルクランパー



取付け場所の選定

(1)台所リモコンは必ず屋内に取付けてください。

【お願い】台所リモコンは防水タイプではありません。
下記の場所には取付けないでください。
- 浴室など湿気の多いところ
- ガステーブルなどの高温（50℃以上）になるところ
- 直射日光のあたるところ
- 蒸気や水しぶきのかかるところ

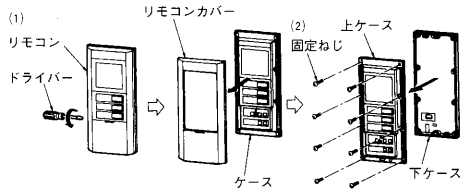


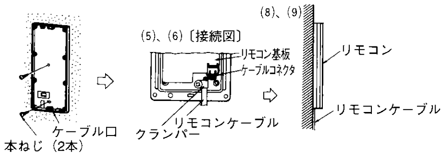
(2)リモコンケーブルの長さが15m以内になる場所に取付けてください。
(3)台所リモコンはスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ（目の位置より少し下側のところ）に取付けてください。

1. 台所リモコンを壁に取付けて使用する

ケーブル露出配線のとき

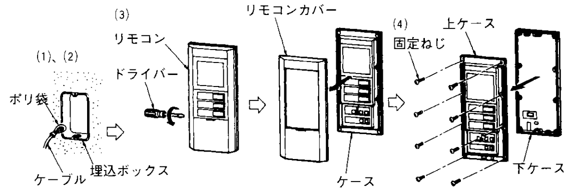
(1)マイナスドライバーでリモコンカバーをケースからはずす。
(2)固定ねじ（8本）をはずす。
(3)下ケースをケーブル露出配線用木ねじ（付属品 2本）で壁に取付ける。
(4)下ケースの「ケーブル口」をニッパー等で切欠く。
(5)上ケースのクランパーをはずす。
(6)上ケースのリモコン基板コネクターにケーブルコネクターを差し込み、リモコンケーブルをクランパーで固定する。
(7)上ケースを下ケースにはめ、固定ねじ（8本）で固定する。
(8)リモコンカバーをケースにはめる。
(9)ケーブルを壁面に固定し、温水器まで配線する。

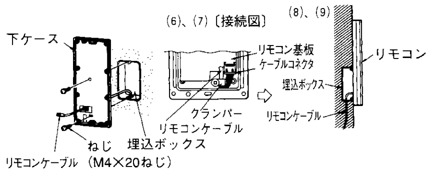




ケーブル埋込配線のとき

(1)リモコンを取付ける場所に埋込ボックス（JIS 1個用スイッチボックス）を固定する。
(2)リモコンケーブルを電線管に通し、温水器まで配線する。
（リモコンケーブルを配線するときは、コネクターを保護しているポリ袋をつけたままでコネクターに張力がかからないように行います。）
(3)マイナスドライバーを使ってリモコンカバーをケースから外す。
(4)固定ねじ（8本）を外す
(5)埋込ボックスから出ているリモコンケーブルを下ケースの穴に通し、下ケースをケーブル埋込配線用Mねじ（付属品 2本）で埋込ボックスに取付ける。
(6)上ケースのクランパーを外す。
(7)上ケースのリモコン基板コネクターにケーブルコネクターを差し込み、リモコンケーブルをクランパーで固定する。
(8)ケーブルを埋込ボックスに押込むようにして、上ケースを下ケースにはめ、固定ねじ（8本）で固定する。
(9)リモコンカバーをケースにはめる。

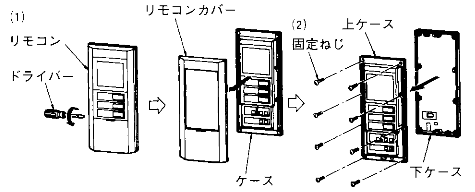


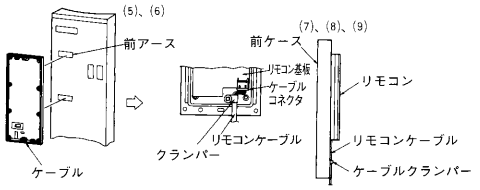


2. 台所リモコンを温水器に取付けて使用する　温水器を屋内に設置した場合のみ取付けられます。

【お願い】温水器が直射日光や雨がかかるところに設置してある場合は取付けないでください。

(1)マイナスドライバーを使ってリモコンカバーをケースから外す。
(2)固定ねじ（8本）を外す。
(3)下ケースにシール（付属品 2枚）を貼って、温水器の前面カバーに取付ける。
(4)下ケースの「ケーブル口」をニッパー等で切欠く。
(5)上ケースのクランパーを外す。
(6)上ケースのリモコン基板コネクターにケーブルコネクターを差し込み、リモコンケーブルをクランパーで固定する。
(7)上ケースを下ケースにはめ、固定ねじ（8本）で固定する。
(8)リモコンカバーをケースにはめる。
(9)ケーブルをケーブルクランパー（付属品）で固定する。(2箇所)





RMC-4FK

台所リモコン取付 接続工事1	
T980019A	／

浴室リモコン工事

●リモコンケーブルは三菱純正別売部品をご使用ください。

浴室リモコン付属品一覧表

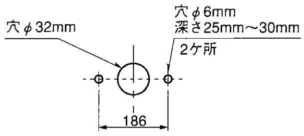
部品名	数量	部品名	数量
(1) 取付パイプ（太）	1	(4) オールプラグ	4
(2) 取付パイプ（細）	1	(5) 木ねじ（4×30）	4
(3) カバー（パッキン付）	1	(6) ゴムブッシュ	1

取付け場所の選定

・防水タイプですが湯や水のできるだけかかりにくい場所に取付けてください。
・リモコンケーブルの長さが15m以内になる場所に取付けてください。
・リモコンはスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ（目の位置より少し下側のところ）に取付けてください。
・カバーの位置が湿気の少ないところになるように穴をあけてください。

コンクリート、タイルなどの壁に取付ける場合（壁貫通）

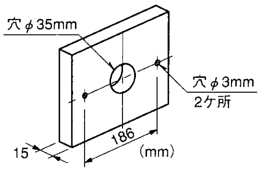
・壁厚200mmまで取付け可能です。
・壁に貫通穴（φ32～35mm）、オールプラグ用穴（φ6mm、深さ約30mm、2カ所）をあけ、オールプラグを打ち込みます。

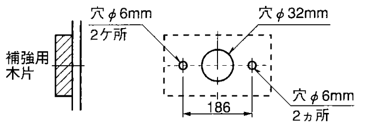


(1)マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースから外す。
(2)取付パイプ（太）、（細）を壁の厚さに合わせてカットし、取付パイプ（太）を貫通穴に通す。
(3)リモコンケーブルを取付パイプ（細）、カバーに通し、取付パイプ（太）から壁の反対側へ送る。
(4)リモコンケーブルのコネクターをリモコンのコネクタに差し込みゴムブッシュをリモコンにはめ込む。
(5)取付パイプ（太）をリモコン背面にねじ込み貫通穴に差込んで、木ねじ2本でリモコンを壁に固定する。
(6)取付パイプ（細）を取付パイプ（太）にねじ込み、カバーを木ねじ2本で壁に固定する。
(7)リモコンカバーを取付ける。

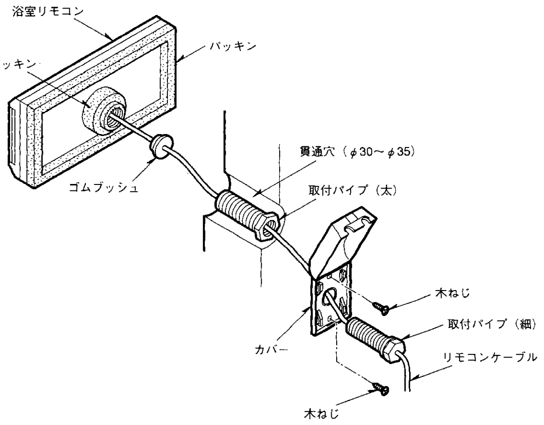
ユニットバスに取付ける場合（壁内配線）

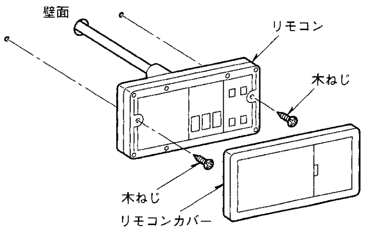
・取付パイプ、カバー、オールプラグは使用しません。
・室内側からリモコンケーブルを通しておきます。
・壁にリモコンコード用穴（φ32mm）と、リモコン取付け用穴（φ6mm）をあけます。
・壁パネルに取付ける場合、裏側に補強用の木片を取付けます。
（木片にリモコンコード用穴（φ35mm）とリモコン取付け用穴（φ3mm、2カ所）をあけます。）
・補強用の木片を接着剤などで壁裏面に付けます。
・木片は現地で用意してください。





(1)マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースから外す。
(2)リモコンケーブルを貫通穴に通し浴室内に出す。
(3)リモコンケーブルのコネクターをリモコンのコネクターに差込みゴムブッシュをリモコンにはめ込む。
(4)木ねじ2本で壁に固定する。
(5)リモコンカバーを取付ける。



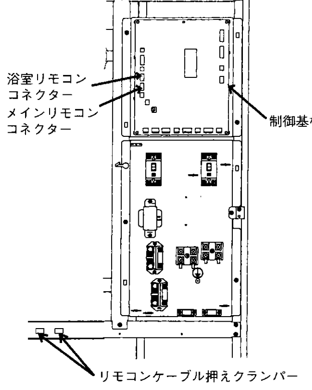


リモコンケーブルと温水器の接続工事

(1)リモコンケーブル口からリモコンケーブルを通し、制御基板左下のコネクターにします。
浴室リモコン…P1コネクター
台所リモコン…P2コネクター

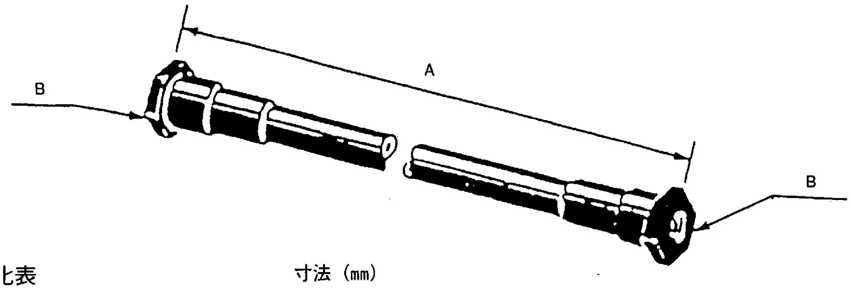
(2)ケーブル押え板でリモコンケーブルを固定します。

【お願い】
・リモコンケーブル同士の中継は誤動作の原因になりますので行わないでください。
・リモコンケーブルのコネクターの抜き差しはリモコンケーブル部に張力がかからないように行なってください。
・リモコンケーブルは電源ケーブルと離して（約5cm以上）配線してください。近いとノイズによる誤動作の原因になります。
・リモコンケーブルを温水器の制御基板上のコネクターに接続するときは200V電源ブレーカーの電源レバーを「切」にしてから接続してください。



RMC-4FB

浴室リモコン取付 接続工事2	
T980020A	／

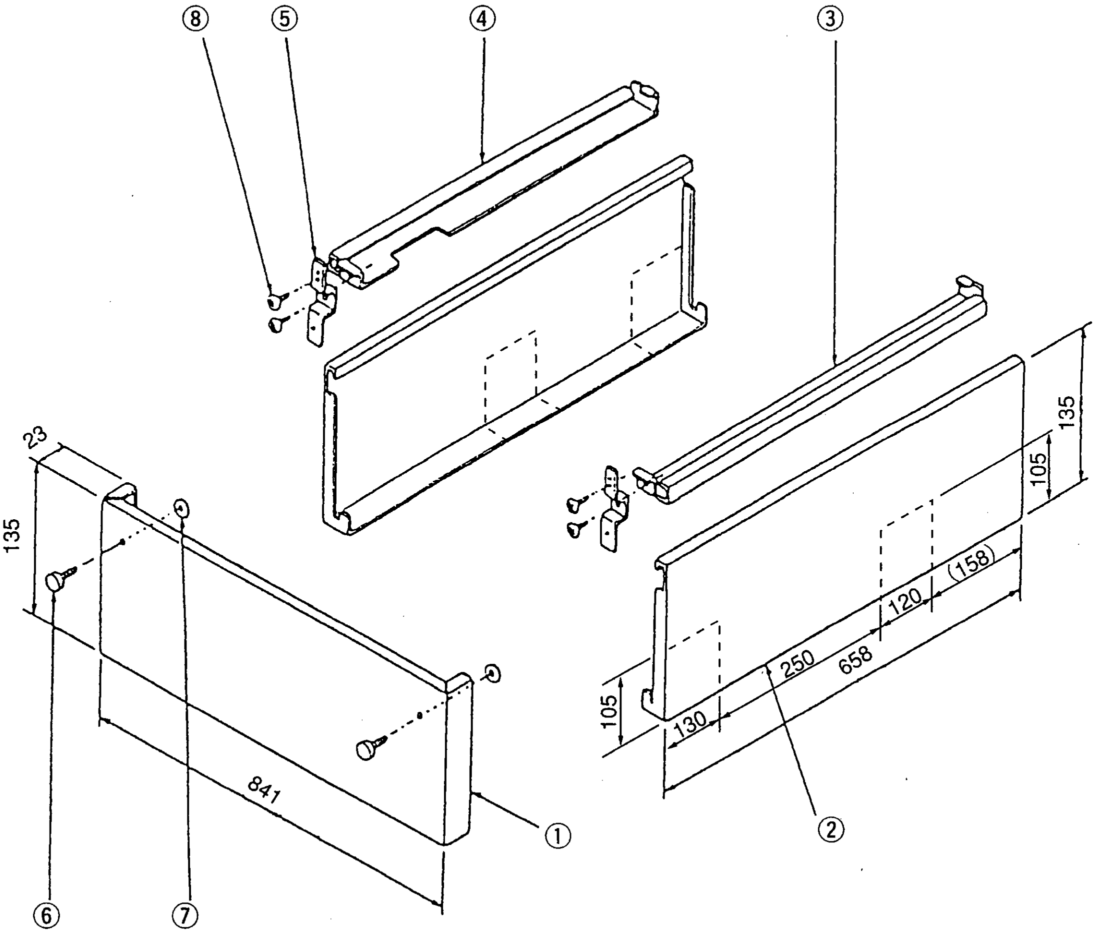


寸法変化表

寸法（mm）

形　　名	A	B
GT-60B	1050	Rp 3/4
GT-61B	550	Rp 3/4
GT-62B	550	Rp 1/2

絶縁パイプ GT-60B GT-61B GT-62B（別売）

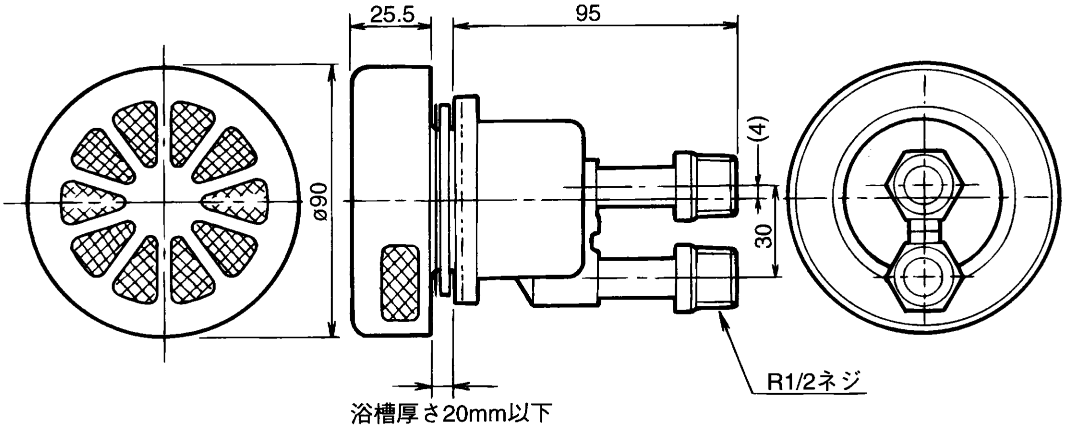


寸法（mm）

品番	品　　名	材　　質	個数	備　　考
①	前面カバー	塗装鋼板	1	
②	側面カバー	塗装鋼板	2	
③	支持板A（右）	亜鉛メッキ鋼板	1	
④	支持板A（左）	亜鉛メッキ鋼板	1	
⑤	支持板B	亜鉛メッキ鋼板	2	
⑥	ツマミネジ		2	M4×10
⑦	ワッシャ		2	
⑧	タッピンネジ		4	4×6

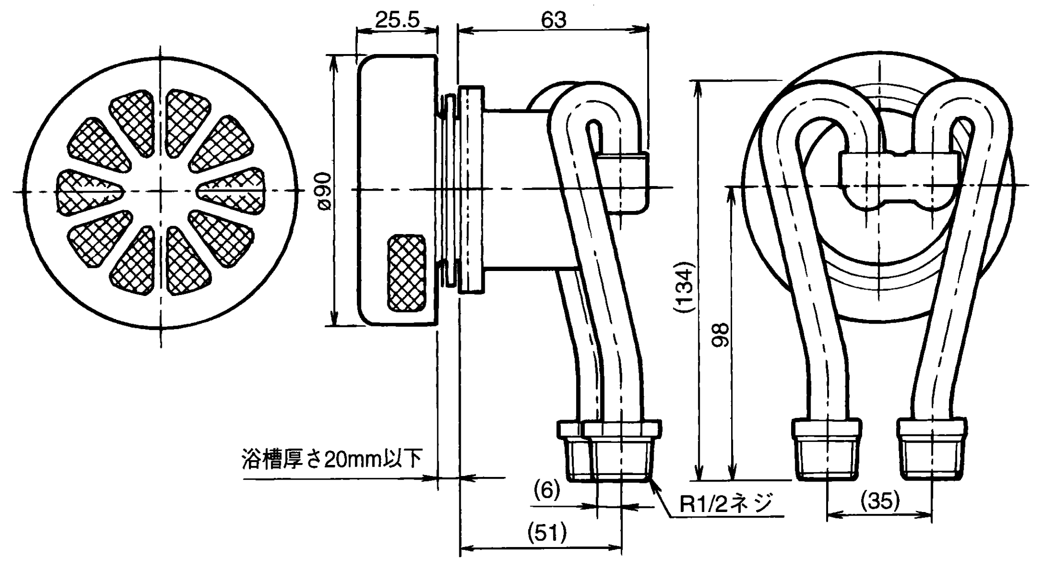
SRT-3764FA-BL　SRT-4664FA-BL

脚部カバー　GT-B460F（別売）



（一人施工用）

浴槽アダプター（直管おねじタイプ）GT-A76　（別売）



（一人施工用）

浴槽アダプター（直角おねじタイプ）GT-A78　（別売）